



公益社団法人

埼玉県臨床工学技士会

SAITAMA ASSOCIATION FOR CLINICAL ENGINEERS



医療イノベーション埼玉ネットワーク

埼玉県先端産業創造プロジェクト

さいたま医療ものづくり都市構想



公益社団法人

埼玉県臨床工学技士会 ニーズマッチング会

医療イノベーション埼玉ネットワークでは、医療機関の医療者と医療機器メーカー、ものづくり企業が連携し、新たな医療機器を開発する取り組みとしてニーズマッチングを開催いたします。

今回は、埼玉県臨床工学技士会から、最新の臨床ニーズを提案いただきます。医療従事者と連携し医療機器開発を推進したい企業の参加をお待ちしております。

WEB開催

参加費
無料

2020年 10月2日(金) 17:00~18:30

オンラインミーティングシステムZoomを使用します

インターネット環境があれば、どこからでもパソコン、スマートフォン等を利用してご参加が可能です

17:00~17:10 開会挨拶

埼玉県 産業労働部 先端産業課長 齊藤 豊

埼玉県臨床工学技士会理事長 安藤 勝信 氏

17:10~18:25 臨床ニーズ発表会(8課題)

※ニーズの詳細については、裏面をご覧ください

18:25~18:30 講評・閉会挨拶

埼玉県臨床工学技士会 常務理事・医産学連携担当 山中 望 氏

※上記は予定のため都合により変更になる可能性が「ございます

プログラム

定員

100名

対象

県内外の医療機器メーカー、医療機器関連製造業、医療関係者、医工連携に関心をお持ちの方

会場

WEB開催

・Zoom社のWebミーティングシステムを使用したWeb配信で開催します。

・参加者は、申し込み後お知らせするURLをクリックすることで、ご参加(視聴)いただけます。

(※Zoomは「無料」で使用できます。ただし、インターネットに接続するための通信料金はご参加者負担となります。)

Zoomのよくある質問 → <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/206175806-Top-Questions>

問合せ

公益財団法人 埼玉県産業振興公社 先端産業支援センター埼玉 医療イノベーション担当:有海・阿部
さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-711-6870

申込み

URL <https://www.saitama-j.or.jp/seminar/matching1/>

右のQRコードで表示される入力フォーム、または裏面の申込にご記入のうえFAXでお申込下さい。



共同主催 公益社団法人埼玉県臨床工学技士会・医療イノベーション埼玉ネットワーク
(事務局 公益財団法人 埼玉県産業振興公社)

■ 臨床ニーズ一覧

No.	開発するデバイスの種類	デバイス開発の背景 (臨床現場の現状と問題点)
1	サージカルスモークの少ない電気メス	サージカル・スモークには有害なガスや蒸気が含まれており、毎年150万人以上の医療従事者がサージカル・スモークに曝露して、その健康被害が問題になっている。近年の外科手術は、内視鏡下手術など半密閉空間の手術も増えており、サージカル・スモークによる術野の曇りが手術時間等に影響していると考えられる。サージカル・スモークの発生が少ない電気メスの開発が望まれる。
2	外れないネジ式(ルアー)ロック	現在、点滴のラインや透析の回路などの接続にはルアーロックが用いられている。しかしながらねじを締めつつもりが緩んでしまったという経験があり、特にシェアプラグや透析の穿刺針と透析回路といった接続では、緩んでしまって外れかけた経験もある。締める強さも人それぞれになってしまうため、ここまで締めたら絶対に緩まないといった機構のルアーロックがあると安心だと思われる。
3	いろいろなところに取り付けられる針捨てボックス	穿刺後は速やかに穿刺針を針捨てボックスに廃棄する必要がありますが、針捨てボックスの置き場所によって速やかに廃棄されないことがあります。穿刺後、針から手を離すことなくそのまま廃棄できるように、針捨てボックスをベッドやコンソール周りに安全に取り付けられるようにしたい。
4	在宅呼吸器を載せられるベビーカー(ベビーカー取り付けカート)	0歳から1歳の新生児が人工呼吸器を装着したままベビーカーに乗ることができるデバイスがほしい。小児や成人は持ち運びもできる在宅人工呼吸器が存在しているが、新生児のベビーカーへの設置はなかなか難しい。
5	レスピレータアラームのPHS連動(スマホ連動)	人工呼吸器は患者さんの呼吸を助ける目的で使用されているが、呼吸や回路、その他による異常を電子アラーム音として知らせる重要な役割が備わっている。つまり、音が聞こえる範囲で管理をすることが必須である。もし、PHS、スマートフォンなどのデバイスにもアラームを共有することが出来れば、病院なら多くのスタッフに周知出来また、個人や在宅での安全性をさらに高めることにつながるのではないか。
6	階段昇降可能なストレッチャー	災害時の患者移送の際、担送の患者は空気応用担架を使用している。空気応用担架はベッドからの移乗時、ベッドの下に降さなければならないため人手が多数必要であり、スタッフの負担が大きい。そこでストレッチャーに階段をスムーズに昇降できる機能があれば、スムーズな移送が可能であると考ええる。
7	エコープローブ保持器	エコー下穿刺の際、穿刺者はプローブを持ちながら穿刺を行うが、プローブの有無で穿刺スタイルが大きく異なり、エコー下穿刺ならではの穿刺技術が必要となる。そこでプローブを固定する機器があれば、エコー画像を見ながらいつものスタイルを変えることなく穿刺が可能となる。
8	ICUでの患者周り環境のコード・ケーブル類が多い	集中治療室で管理されている患者には、多くの生体情報モニタ、治療機器および薬剤注入ライン等が四肢のみならず、身体全体に確保されている。これらラインに関するトラブルは後を絶たないが、治療機器や薬剤注入ラインをなくすことはできない。そこで、生体情報モニタ関連のケーブル類を減らし、トラブルに対して迅速かつ的確な状況判断ができるシンプルな環境づくりを行いたい。

※上記は予定であり、都合により変更する場合があります。

埼玉県臨床工学技士会ニーズマッチング会参加申込書

企業名			
住所	〒	TEL	FAX
氏名		所属・役職	
E-Mail			
秘密保持に関する 確認事項(必須) ※同意の場合は□に 入力ください	<input type="checkbox"/>	私は、令和2年10月2日に開催される埼玉県臨床工学技士会ニーズマッチング会への参加にあたり、発表資料のほか参加によって知り得た情報を第三者に漏洩しないことを誓約します。また、当マッチング会は、発表者との共同開発の実現を目的とするものであり、その目的以外では使用しないことを誓約します。	